

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

| | |
|----------|---|
| P T A名 | 静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A |
| 学 校 名 | 静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱 |
| 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 |
| 全校児童・生徒数 | 35人 |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | 電子式ミシン 2台 |
| 使用学年及び人数 | 高等部1～3年 15人 |
| 使用頻度 | 週2回の作業学習 |
| 使用状況 | <p><作業学習></p> <p>○手工芸班 畳の縁を使ったポーチやしおり、ブックカバー作りを行っている。</p> <p>○革工芸班 革のパスケース作りでは、革とフィルムを縫い合わせる時に、ミシンを活用している。ゆっくり慎重に縫っている。</p> |
| 物品の使用による変化や効果 | <p>作業学習において、ミシンの台数が増えたことにより、班としての作業製品作りのスピードが上がり、製品数が伸びた。さらに繰り返し取り組む中で、ミシンを操作することについて自信を持ち、意欲的に取り組む姿が見られるようになった。</p> |
| 今後の活用の見通しや課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、ゆっくりでもミシンを扱い、製品作りができる生徒を増やしていきたいと考えている。 ・電子式ミシンについてまだ、全ての機能を使用できていないため、寄贈して頂いたミシンについて教員が使い方等を学ぶことで、より製品作りに活用していきたい。 |
| その他希望や所感など | <p>寄贈して頂いたミシンをさらに活用しながら、作業学習時における製品作りに活用し、生徒の意欲的で主体的な学びに繋げていきたい。</p> |

2. 活用の様子



ミシンで、畳の縁を加工しているところ



二人で、教え合いながら取り組んでいます。